

敬愛する国民の皆さん、

私は本日、非常戒厳に関する私の立場を明らかにするために、この場に臨みました。

今、野党は非常戒厳宣言が内乱罪に当たるとして、狂ったように挑みかかっています。本当に戒厳令が内乱罪に該当するのでしょうか？

果たして今、大韓民国において、国政を麻痺させ、憲政秩序を乱しているのは誰でしょうか？

### ◇巨大野党の横暴の数々

この 2 年半の間、巨大野党は、国民が選んだ大統領を大統領と認めようとせず、私を引きずり下ろすために、退陣と弾劾の扇動を止めませんでした。大統領選挙の結果には承服しないぞということです。大統領就任当初から現在まで、なんと 178 回に達する大統領退陣、弾劾集会が開かれました。大統領の国政運営を麻痺させるために、現政府の発足以来、これまで何十人も政府公職者の弾劾を進めてきました。

弾劾された公職者は、間違っただけをいなくても、訴追から判決宣告時まで長期間にわたり職務が停止します。そのため弾劾が発議され、訴追が行われる前に、多くの公職者が自ら辞退していきました。こうして弾劾の乱発で国政を麻痺させてきたのです。長官、放送通信委員長の弾劾から始まり、自らの不正を調査した監査院長や検事まで弾劾し、裁判官たちに脅威を感じさせるに至っています。自分たちの不正を覆い隠すための「防弾」弾劾であり、公職者綱紀と法秩序を完全に崩壊させるものでした。

さらには、違憲的な特別検察法案を 27 回も発議して、政治扇動攻勢をかけ、ついには犯罪者(である野党代表)が、自分自身に免罪符を与える「セルフ防弾」立法まで強引に通そうとしています。

巨大な野党が支配する国会が、自由民主主義の基盤どころか、自由民主主義の憲政秩序を破壊するモンスターとなったのです。これが国政麻痺であり、国家の危機でなければ何でしょうか？

これだけではありません。

今、巨大野党は国家安全保障と社会安全をも脅かしています。例えば今年 6 月、中国人 3 人がドローンを飛ばして、釜山港に停泊していたアメリカの空母を撮影するという事件がありました。彼らのスマートフォンとノート PC からは、少なくとも 2 年以上、韓国の軍事施設を撮影した写真が見つかりました。また、先月は 40 代の中国人がドローンで国家情報院を撮影していて捕まりました。この人は、中国から入国するとすぐ、その足で国家情報院に向かっていくことが確認されました。しかし、現行法では外国人のスパイ行為をスパイ罪で処罰する法律がありません。このような状況を防ぐために、刑法のスパイ罪の条項を修正しようと試みましたが、巨大野党に完全に遮られています。

前の(文在寅)政権の時には、国家情報院の対共産スパイ捜査権を剥奪しただけで足りず、国家保安法

の廃止まで試みています。国家安保を脅かすスパイを捕まえるなどというのでしょうか？

北朝鮮の国際法違反の核武装とミサイルによる脅威・挑発に対しても、GPS 攪乱や汚物風船に対しても、民主労総スパイ事件に対しても、巨大野党はこれに同調するだけでなく、むしろ北朝鮮の肩を持ち、これに対応するため苦戦する政府の批判ばかりしています。北朝鮮の核開発に対する国連の経済制裁も先に解除すべきだと主張します。一体どの国の政党であり、どの国の国会なのかわかりません。

検察と警察の来年度の特定業務経費、特別活動費予算は全額削減してしまいました。金融詐欺、社会的弱者対象犯罪、麻薬捜査など市民生活を脅かす犯罪の捜査、そして対共産スパイ捜査に使われる重要な予算です。麻薬、ディープフェイク犯罪対応予算までも大幅に削減してしまいました。自分自身に対する捜査の妨害に留まらず、薬物捜査、組織暴力捜査など市民生活を脅かす犯罪の捜査まで妨害するのです。大韓民国をスパイ天国、麻薬の巣窟、やくざの国にしようということではありませんか？

このような人々こそが国を台無しにする反国家勢力なのではありませんか？

その一方で、自分たちの特権を維持するために国会予算はむしろ増やされました。

経済も危機であり非常事態です。巨大野党は大韓民国の成長動力まで消そうとしています。民主党が削減した来年度の予算内訳を見るとよくわかります。原発生態系支援予算を削減し、チェコ原発輸出支援予算はなんと 90%を削ってしまいました。次世代原発開発関連予算はほぼ全額を削減してしまいました。基礎科学研究、量子力学、半導体、バイオなど将来の成長のための梃子となる予算も大幅に削減してしまいました。東海ガス田試掘予算、いわゆる大王クジラ事業予算まで事実上、全額削減してしまいました。青年雇用支援事業、脆弱階層児童資産形成支援事業、子育て支援費用まで手をつけました。産業エコシステムを構築するための革新成長ファンド、スタートアップ企業育成予算も削減されました。災害対策予備費はなんと 1 兆ウォンを削減し、パンデミックに備えるためのワクチン開発と関連する研究開発予算も削られました。このように、今の韓国は巨大野党の議会独裁と暴挙によって国政が麻痺し、社会秩序が乱れ、行政と司法の正常な業務遂行が不可能な状況なのです。

#### ◇選挙管理委員会を巡る深刻な問題

国民の皆さん、

ここまでは皆さんもよくご存知のことでしょう。しかし、私は非常戒厳という厳しい決断を下すまでに、これまで直接的に明かすことのできなかつた、もっと深刻なことがたくさんあるのです。

昨年下半期、選挙管理委員会を含む憲法機関と政府機関に対し、北朝鮮のハッキング攻撃がありました。国家情報院がこれを発見し、情報漏洩とコンピュータシステムの安全性を点検しようとしていました。他のすべての機関が、彼らの参観の下で国家情報院が点検することに同意し、システムチェックが進められました。しかし、選挙管理委員会だけは憲法機関であることを口実に頑なにこれを拒否したのです。その後、選挙管理委員会の大規模な採用不正事件が発覚し、監査と捜査を受けることになる、国家情報院の点検を受けると一歩譲歩しました。しかし、システム全体のごく一部だけ点検に応じ、残りは応じませ

んでした。そのためシステム装備の一部だけを確認しましたが、状況は深刻なものでした。

国家情報院の職員がハッカーとしてハッキングを試みたところ、いくらでもデータ操作が可能でしたし、ファイアウォールも事実上ないも同然でした。パスワードも「12345」のような極めて単純なものでした。契約していたセキュリティ管理会社も非常に小規模で専門性の低い会社でした。当時、大統領として情報院の報告を受けた私は非常に大きなショックを受けました。

民主主義の根幹である選挙を管理する電算システムがこんなにてたらめでは、国民が選挙結果を信頼できるわけがありません。選挙管理委員会も国家情報院の保安点検過程に立ち会い見守りましたが、自分たちは直接データ操作をしたことはないと言い訳を繰り返すだけでした。選挙管理委員会は憲法に定められた機関であり、司法部の関係者が委員をしているため、令状による押収捜索や強制捜査は事実上不可能です。彼らが自ら協力してくれないと真相究明は不可能なのです。

今年 4 月の総選挙を控えて、問題ある部分の改善を求めましたが、正しく改善されたかどうかはわかりません。そのため私は今回、国防長官に選挙管理委員会の電算システムを確認するよう指示したのです。最近、巨大野党・民主党が自らの不正を捜査し監査するソウル中央地検長と検事、憲法機関である監査院の院長を弾劾しようとしたとき、私はもうこれ以上、手をこまねいて見てはいれられないと判断しました。何でもできることはしなければならないと思いました。

彼らはすぐにでも司法部にも弾劾の刃を向けるのは明らかでした。私は非常戒厳令発動を考えるようになりました。巨大野党は憲法上の権限を乱用して違憲的措置を繰り返し取り続けましたが、私は憲法の枠組みの中で、大統領の権限を行使することにしました。

現在の亡国的な国政麻痺状況を、社会攪乱による行政・司法の国家機能崩壊状態だと判断して戒厳令を発動するが、その目的は国民に巨大野党の反国家的暴挙を知らせ、これを止めるよう警告することでした。それによって自由民主主義の憲政秩序の崩壊を防ぎ、国家機能を正常化しようとしてきました。

実は 12 月 4 日の戒厳解除後、民主党から監査院長とソウル中央地検長らに対する弾劾案を保留するという話があり、短時間の戒厳によるメッセージがある程度効果があったと思いました。しかし、2 日後には保留するといった弾劾訴追を強行してしまいました。

非常戒厳令の名分をなくさせるという意味を込めたものでした。

#### ◇国憲破壊とは程遠い兵力動員の実態

そもそも私は国防長官に対し、過去の戒厳とは異なり、戒厳の形式を借りて昨今の危機状況を国民に知らせ、訴える緊急措置をとるのだと伝えていました。ですから秩序の維持のため必要最小限の兵力のみを投入し、実武装はせず、国会の戒厳解除の議決があればすぐに兵力を撤収させるつもりだと言ってありました。

実際に国会の戒厳解除の議決があるとすぐ、国防部庁舎にいた国防長官を私の執務室に呼んで、即時の兵力撤退を指示しました。私が大統領として発令した今回の緊急措置は、大韓民国の憲政秩序と国

憲を破壊しようとするものではなく、国民に亡国の危機状況を知らせ、憲政秩序と国憲を守り回復するためのものだったのです。

小規模ながら兵力を国会に投入したのも、巨大野党の亡国的行動を象徴的に知らせ、戒厳宣布の放送を見た国会関係者や市民が大勢集まる事態に備え、秩序を維持するためのものであって、国会を解散させたり、国会の機能を麻痺させようとするものではないことは明らかです。

300人に満たない実武装していない兵力では、あの広い国会の空間を相当期間掌握することは不可能です。過去のような戒厳を実施するには数万人の兵力が必要であり、広範囲な事前の議論と準備が必要ですが、私は国防長官に、戒厳令の発令談話放送で国民に知らせた後に兵力を出動させるよう指示しました。ですから10時30分に談話を放送をし、兵力投入も11時30分から12時過ぎまで行われ、午前1時を少し過ぎて国会の戒厳解除決議があるとすぐに軍撤収を指示しました。

結局、兵力が投入された時間は1～2時間に過ぎません。もし国会機能を麻痺させようとしたのなら、平日ではなく週末を期して戒厳を発動したでしょう。国会の建物に対する断線、単水措置から取ったであろうし、放送も制限したことでしょう。

しかし、そういったことは何もませんでした。

国会で正常に審議が行われ、放送を通じて全国民が国会の状況を見守りました。自由民主憲政秩序を回復し守護するため、国民に亡国的な状況を訴えるためには避けられない緊急措置を施しましたが、死傷者が発生しないよう事故防止に万全を期すよう指示し、下士官・兵士ではなく副士官以上の精鋭兵力のみを移動させるようにしたのです。

今回の非常戒厳を準備するにあたり、国防長官だけに相談し、大統領室と内閣の一部の者に宣言の直前、国務会議で知らせました。各自の担当業務の観点から懸念される反対意見も多く出されました。私は国政全般を見る大統領の立場から、現状ではこの措置しかないのだと説明しました。軍関係者は皆、大統領の緊急戒厳発表後、兵力移動指示に従っただけなので、彼らにはまったく落ち度はありません。そしてはっきり申し上げますが、私は国会関係者の国会出入を妨げないよう指示しましたし、従って国会議員と非常に多くの人が議事堂の前庭や本館、本会議場に入り、戒厳解除案の審議も行われたのです。それでもなんとかして内乱罪に仕立てあげ、大統領を引きずり下ろすために数多くの虚偽による扇動を繰り返しています。

#### ◇巨大野党による大統領弾劾の目的は？

一体全体、2時間で終わる内乱なんてありえますか？秩序維持のため少数の兵力を少しの間投入したのが暴動だというのはですか？巨大野党が虚偽の扇動で弾劾を急ぐ理由は何ですか？それはただ一つ。巨大野党党首の有罪判決が目前に迫っているため、大統領を弾劾することでこれを回避し、早期大統領選挙をやろうというのです。

国家システムを崩してでも、自分の犯罪を覆い隠し、国政を掌握しようというのです。これこそが国憲を

乱す行為なのではありませんか？

弾劾されようと、捜査されようと、私はこれに堂々と立ち向かいます。私は今回の戒厳宣布に関して、法的、政治的責任を回避しないと、既に申し上げました。

私は大統領就任以来、今までただの一瞬たりとも、個人的な人気や大統領の任期、地位を守りぬくことにこだわったことがありません。地位保全のためだけであれば、国憲攪乱勢力と争いあうこともなかったし、今回のように非常戒厳を宣言することは、さらになかったでしょう。5年の任期を守ることに拘泥して国家と国民を無視するようなことは、私にはできませんでした。私を選んでくださった国民の意志に背くことはできませんでした。

来る日も来る日も多数の力で立法暴挙を繰り返し、ただ「防弾」にばかり血眼になっている巨大野党の議会独裁に対抗して、大韓民国の自由民主主義と憲政の秩序守ろうとしたのです。その道しかないと判断して下した大統領の憲法的決断であり統治行為である戒厳令が、どうして内乱でありえるでしょうか？大統領の緊急戒厳宣布権行使は、赦免権行使、外交権行使など、司法審査の対象にならない統治行為なのです。

#### ◇国民の皆さんによく考え、判断していただきたい

国民の皆さん、

今、野党は私を重犯罪者に仕立て上げ、今すぐにも大統領職から引きずり下ろそうとしています。もし亡国的な国憲素乱勢力がこの国を支配することになれば、どんなことが起こるでしょうか？違憲的な法律、セルフ免罪符の法律、経済ぶちこわしの法律が国会で無差別的に成立し、この国を完全に破壊するでしょう。

原発産業、半導体産業など未来の成長動力は朽ち果て、中国産太陽光施設が全国の森林を破壊するでしょう。私たちの安全保障と経済の基盤である韓米同盟、韓米日協調は再び崩れ去るでしょう。

北朝鮮は核とミサイルを高度化し、私たちの生活をより深刻に脅かすことでしょう。

そうなればこの国、大韓民国の未来はどうなるでしょうか？スパイが大手を振り、麻薬が未来世代をぶち壊し、組織暴力がのさばる、そんな国になるのではないでしょう？

これまで国政麻痺と国憲の乱れを主導してきた勢力と犯罪者集団が、これ以上国政を掌握し、大韓民国の未来を脅かすことだけは、どんなことがあっても防がなければなりません。私は最後まで戦うつもりです。

国民の皆さん、

国政麻痺の亡国的緊急事態から国を守るために、国政を正常化するため、大統領の法的権限として行使した非常戒厳措置は、大統領の高度な政治的判断であり、唯一国会の解除要求だけで統制できるものです。これが司法部の判例と憲法学界の多数の意見であることを多くの人が知っています。私は国会

の解放要求をすぐに受け入れました。戒厳発令の要件について違う考えを持っている方もいますが、国を救おうとする緊急措置を、国を台無しにしようとする内乱行為として見ることは、多くの憲法学者と法律家らが指摘するように韓国の憲法と法体系を深刻な危険に陥れるものです。

私は尋ねたいです。今あちこちで牙をむいている人々は、この国がこんな状態になるまで、一体何をしたというのですか？韓国の状況は危険であり危機に置かれているということを考えもしなかったというのですか？

公職者の皆さんにお願いします。厳しい安全保障環境とグローバル経済危機の中で、国民の安全と市民生活を守る仕事に、動揺することなく邁進してください。

国民の皆さん、

この2年半の間、私はただ国民の方だけを向いて、自由民主主義を守り再建するために、不義と不正、民主主義を装った暴挙と戦ってきました。血と汗で守ってきた大韓民国、私たちの自由民主主義を守る道に向かい、皆一つになってくださることを、切実な気持ちでお願いします。私は最後まで国民の皆さんと一緒に戦います。

短い時間とはいえ、今回の戒厳で驚き不安に思った国民の皆さんへ、もう一度お詫び申し上げます。国民の皆さんへの私の熱い忠誠の心だけは信じてください。

ご清聴ありがとうございました。